



KOBE アカデミックトーク 2025年度 始動！

大学研究を 神戸の発展に！

未来をともに考え、語り、学び合う場

（一社）大学都市神戸産官学プラットフォームでは、大学の多彩な研究を市民の皆さまにより身近に感じていただけるよう、プラットフォームの参画大学に所属する研究者による プレゼンテーションと交流を組み合わせた対話型イベント「KOBEアカデミックトーク」を昨年度より開催しています。

今年度は開催回数を拡充するとともに、幅広いテーマで大学研究者と地域の企業の皆さまをはじめ、多くの市民との交流を促進し、新たなつながりや共創の芽が生まれる場を創出してまいります。ぜひ、未来へのヒントやアイデアを、研究者と一緒に語り合ってみませんか。

どなたでもご参加いただけます。

皆さまのご来場をお待ちしています。



プレゼン × ディスカッション × 交流



一般社団法人 大学都市神戸産官学プラットフォーム

2025年度 KOBE アカデミックトーク

年間スケジュール(予定)

開催日	登壇内容 & プレゼンター
	※登壇内容が変更となる場合がございます。
6/24(火)	第8回「人とテクノロジーが共に生きる未来へ～ロボットとウェアラブルが変える私たちの暮らし」 神原 誠之（甲南大学 知能情報学部 知能情報学科） 大西 鮎美（神戸大学 大学院工学研究科）
7/24(木)	第9回「身体の状態を“見える化”する技術～汗成分解析と筋協調の可視化」 内富 蘭（神戸学院大学 栄養学部 応用栄養学部門） 木伏 紅緒（神戸大学 大学院人間発達環境学研究科）
8/21(木)	第10回「自然資源の持続可能な活用と保全～水と森林資源の未来を見据えた取り組み」 柴崎 浩平（兵庫県立大学 環境人間学部 環境デザイン系） 東 若菜（神戸大学 大学院農学研究科 資源生命科学科）
9/25(木)	第11回「こどもの学びを支える教育デザイン～防災・環境教育におけるICT活用と教育法の開発」 田中 達也（神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科） 深川 幹（神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科）
10/23(木)	第12回「生活の質を高めるリハビリテーション支援技術の最前線 ～呼吸機能評価の新デバイスと目標達成支援アプリの開発」 田代 大祐（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科） 倉 昂輝（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 作業療法学科）
11/27(木)	第13回「アジアの国際関係と政治の読み解き～東南アジアと中国の外交から見る日本の現在地」 木場 紗綾（神戸市外国語大学 外国語学部国際関係学科） 周 源（神戸大学大学院 法学研究科）

12月以降の開催内容および各回の詳細は特設ページに随時掲載予定



[2024年度KOBEアカデミックトークの様子]

主催：（一社）大学都市神戸産官学プラットフォーム
問合せ：TEL 078-954-6921 Email: info@kobepplatform.or.jp

第8回 大学の若手研究者ショートプレゼン&交流会 ～KOBEOアカデミックトーク～

人とテクノロジーが共に生きる未来へ ～ロボットとウェアラブルが変える私たちの暮らし～

プログラムについて

(一社)大学都市神戸産官学プラットフォームでは、大学の多彩な研究を市民の皆さまにより身近に感じていただけるよう、プラットフォームの参画大学に所属する研究者によるプレゼンテーションと交流を組み合わせた対話型イベント「KOBEOアカデミックトーク」を開催しています。

今回は、甲南大学 知能情報学部的神原誠之さんと、神戸大学 大学院工学研究科の大西鮎美さんをお迎えし、知能ロボットやウェアラブル技術といった最先端の研究をわかりやすくお話いただきます。

私たちの暮らしや社会は、これからどのように変わっていくのか。未来へのヒントやアイデアを、研究者と一緒に語り合って みませんか。どなたでもご参加いただけます。皆さまのご来場をお待ちしています。

プレゼンター



かんばら まさゆき

神原 誠之

甲南大学 知能情報学部
教授



おおにし あゆみ

大西 鮎美

神戸大学大学院 工学研究科
助教

開催概要

【プレゼンタイトル】

「社会で共生する知能ロボットの実現にむけて」 神原 誠之さん

「ウェアラブルコンピューティング技術による新たな健康・スポーツ支援」 大西 鮎美さん

【日 時】

2025年6月24日(火) 18:30～20:00 (受付18:00～) プレゼン×ディスカッション×交流

【会 場】

KOBEO Co CREATION CENTER (神戸市中央区三宮町1-9-1 センタープラザ9階)

【対 象】

テーマに関心のある企業、事業者、自治体行政関係者、一般市民、学生 など

【参 加】

参加無料、事前申込制 (先着順：定員30名程度)

右の2次元コードコードからお申し込み下さい。



人とテクノロジーが共に生きる未来へ ～ロボットとウェアラブルが変える私たちの暮らし～

プレゼンター



かんばら まさゆき

神原 誠之

甲南大学 知能情報学部
教授

博士(工学)。2002年、奈良先端科学技術大学院大学博士後期課程を修了。同年、同大学情報科学研究科助教に就任。2010年より准教授を経て、2024年より甲南大学教授。複合/拡張現実感、環境知能、ヒューマンロボットインタラクションの研究に従事。特に近年は、ロボット化・知能化技術開発が急速に進む社会において、高度な知能を持つロボットと人間との調和的共生を目的とした研究を推進している。

「社会で共生する知能ロボットの実現にむけて」

急激に発達する人工知能(AI)やロボットを用いて、様々な場所で活躍するロボットの実現が期待されています。本発表では、共に生活する対話ロボット（私的空間）、駅やショッピングモールなどでサービスを提供するロボット（公共空間）、搭乗者の快適性を向上させる自動走行車（移動空間）などの実現に向けた、ヒューマンロボットインタラクション(HRI)、拡張/複合現実感(AR/MR)・ユーザインタフェースなどの研究を紹介します。

2019年、神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻博士課程修了、博士（工学）。神戸大学特命助教を経て、2020年より同大学助教。ウェアラブルコンピューティング技術に関する研究に取り組む。MITテクノロジーレビュー「Innovators Under 35 Japan」選出、特別賞受賞など、若手研究者として注目を集めている。

「ウェアラブルコンピューティング技術による新たな健康・スポーツ支援」

ウェアラブルデバイスの開発やそれを使ったセンシングに関する研究を専門として、様々なテーマに取り組んでいます。近年は特に「疲労時五感の定式化と疲労時能力をAIで補正する五感拡張装置の開発」に注力しており、このテーマではJST ACT-Xにて研究代表者を務めました。眼鏡や補聴器といった五感を拡張する装具は、生活の質向上に不可欠な存在ですが、人間の五感は疲労によって日常的に変化する可能性があります。そこで、疲労時における五感能力の変化を「疲労時五感」とよび、それを考慮した五感能力を拡張するウェアラブルデバイスの開発に取り組んでいます。また、シューズのアウトソール部分に発電素子を埋め込み、歩行によって発電しながら行動や状況を認識する「スマートシューズ」の研究にも取り組んでいます。これは、ウェアラブルデバイスにおける大きな課題である電源問題を解決するもので、充電不要で利用できる「無電源センシングシューズ」として注目されています。本プレゼンでは、こうした研究事例とともに、多様な協業の取組についてご紹介します。



おにし あゆみ

大西 鮎美

神戸大学 大学院工学研究科
助教

ファシリテーター



あべ こうたろう

安部 孝太郎（株）NTTドコモ クロステック開発部 担当部長

2000年早稲田大学大学院理工学研究科経営システム工学修了。ドコモの法人部門、コンサル会社出身、R&D部門での新規事業開発経験を経て、2024年より現職。経営企画部兼務の傍ら、神戸市を中心として、各地方自治体の社会課題に適応した先進技術を実装する取り組みを推進中。

今後のアカデミックトークの開催予定

6/24, 7/24, 8/21, 9/25, 10/23, 11/ 27

12月以降は決定次第 特設ページに掲載します。

特設ページはこちら ⇒

主催：（一社）大学都市神戸産官学プラットフォーム

問合せ：TEL 078-954-6921 Email: info@kobeplatform.or.jp

